



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

令和7年度 津山洋学資料館 秋季企画展
蘭学・洋学 三津同盟 津和野×津山

從江都至東海蝦夷地針路之図 (津和野郷土館蔵)

幕末の 津和野藩 と 洋学

2025年

10/11_土~

11/16_日

開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 10/14(火)、15(水)、20(月)、27(月)、11/4(火)、5(水)、10(月)

入館料: 一般300円(240円) / 高校・大学・65歳以上200円(160円)

※()は30名様以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

会場: 津山洋学資料館 企画展示室 (岡山県津山市西新町5番地)



天球儀 (複製・津和野町教育委員会蔵)



栗本格斎筆「津和野城下絵図」
養老館部分から切り抜き
(津和野郷土館蔵)

天保十一年津和野城下図 (津和野郷土館蔵)

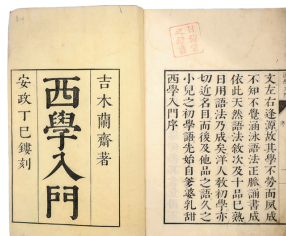
幕末期、各藩がこぞつて藩政改革に乗り出しました。

石見国の津和野藩も最後の藩主亀井茲監が藩校に「蘭学」や「西洋砲術」の導入に取り組み、刻々と移り変わる国内外の情勢に備えました。

この時代は、「蘭学」と呼ばれていた西洋の知識が「洋学」と呼ばれ始める時期に当たります。裾野が広がっていく西洋知識が津和野藩においてどの様に浸透していったかについてご覧ください。

今回の企画展では「蘭学・洋学三津同盟」事業の一環として、幕末の津和野藩における洋学の展開を紹介いたします。

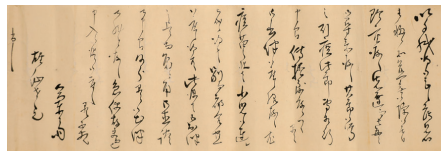
箕作阮甫と津和野の関わり



西学入門 (太鼓谷稲成神社蔵)



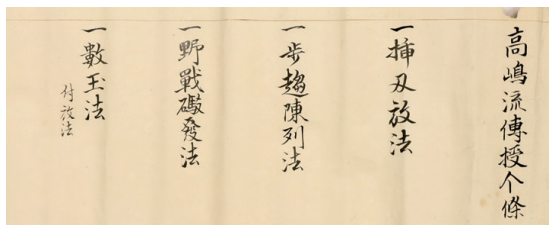
箕作阮甫肖像写真



吉木蘭齋書簡 (津和野町郷土館蔵)



地球儀 (複製・津和野町教育委員会蔵)



高島流伝授カ条 (津和野町郷土館蔵)



かめいこれみ
亀井茲監肖像写真
(津和野町郷土館蔵)



浅木流大砲絵 (津和野町郷土館蔵)



津和野藩海岸防備図
(津和野町郷土館蔵)

教育改革を施行した最後の藩主

蘭学・洋学 三津同盟

「津」という字を地名にもち、江戸後期から明治初期にかけて、優れた蘭学者・洋学者を輩出した、津山市・津和野町(島根県)・中津市(大分県)の3つの自治体で令和3(2021)年に締結しました。



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

〒708-0833
岡山県津山市西新町5
TEL:0868-23-3324

▼HPはこちら



交通のご案内

- ◆バス／
JR津山線津山駅より東循環ごんごバス南廻り線で12分、西新町バス停下車徒歩2分
- ◆お車／
中国自動車道 津山ICから15分／院庄ICから20分

